

奈良市立 富雄中学校

学校番号 505
校園長名 瀬古口 浩之
生徒数 803名

研究主題 『富雄中学校 生徒育成の重点』をふまえ、3年間を見通した教育実践の推進

研究年度 6 年度

1 研究の方法

「友愛・自主・活力」の校訓のもと『豊かな心を持ち、他を思いやる生徒』『自ら学び、自ら考え行動できる生徒』『目標に向かって、ねばり強く継続して取り組む生徒』を育てる教育を進めてきた。

『生徒育成の重点』は、本校の3年間で生徒をどのように育成するのかを記したものであり、これを全職員が常に意識して、学校行事をはじめ、様々な教育活動において効果的な生徒の指導方法や支援の方法、課題や目標の設定などに取り組んでいる。

2 研究主題設定理由

本校の教育目標・目指す生徒像にてらし、3年間を見通して着実に指導を積み上げていけるように、『富雄中学校 生徒育成の重点』として各学年での目標や課題を系統的に示した。

1年生では、「みんなの中の私 ころもからだもイキイキ」をテーマに、基本的生活習慣の確立、集団行動とルール、受容感と自己肯定感の育成をめざす。

2年生では、「チャレンジする私 ころもからだもスクスク」をテーマに、基本的生活習慣の自立、人の役に立つ行動と自己効力感の育成、リーダーの育成、学力補充をめざす。

3年生では、「道を切り開ける私 ころもからだも強く優しく」をテーマに、基本的生活習慣の自立、リーダーシップ、幅広い価値観・人生観による将来の生活設計や進路選択、学力補充をめざす。

以上のねらいに基づいた3年間の系統的取組を進めるために、教科授業をはじめ、特別活動、総合的な学習、生徒指導、生徒相談、部活動など全ての教育活動において研修と実践を推進する。

【学校教育目標】

- 豊かな心を養い、人権を大切にする生徒を育てる。
- 自ら学ぶ意欲と自ら考える力を養い、自主的に実行する生徒を育てる。
- たくましい心身を養い、活力のある生徒を育てる。

【目指す生徒像】

- 「やさしく、かしこく、ねばり強く」
- 互いに高めあう生徒（友愛）
- よく考える生徒（自主）
- ねばり強い生徒（活力）

3 具体的な研究内容

① 研究のねらい

大規模校であるが故に、学年のカラーが強くてでてしまい、学年によって指導の方向や目標の設定の視点がずれることがしばしば起こってきた。やむを得ない部分もあるが、何とかそのずれを最小限にし、富雄中学校全体として3年間で生徒をどう育成していくのかについて、全職員の意識が統一され、同じ方向を向いて、一歩ずつ進んでいけるような教育活動のあり方を模索する。

② 研究の重点

- 「富雄中学校 生徒育成の重点」の目標や課題が、生徒の実態に合っているかどうかを全職員で検証しながら進める。また、目標が達成できたかどうかを、各部門で総括する。
- 学習や体験活動が、3年間の中学校の学習の中に位置づけられ生徒の確かな成長につながる活動計画を作成する。
- 各学年の重点目標を常に意識することができて具体的に実践できる組織や体制を作る。
- 学校開放・行事の参観・学校だよりなどを通して保護者に、中学校が大切にしていることを伝え、学校教育への理

解と協力を得る努力をする。また、地域社会との連携を深め、生き生きとした開かれた学校作りをめざす。

③ 活動の方法

1年生の重点目標

「みんなの中の私」

「こころもからだもイキイキ」

- ・ 基本的な生活習慣の確立
- ・ 集団行動のルールの意味を理解させる
- ・ 受容感・自己肯定感の育成

2年生の重点目標

「チャレンジする私」

「こころもからだもスクスク」

- ・ 健康的な生活習慣の自立
- ・ 自己効力感の育成、人の役に立っているという実感
- ・ リーダーの育成、自主的な活動の推進
- ・ 学力補充

3年生の重点目標

「道を切り開ける私」

「こころもからだも強く優しく」

- ・ 健康的な生活習慣の自立を強化する
- ・ リーダーシップを発揮する
- ・ 人生観や価値観を考え、将来の生活設計と進路選択に生かす。
- ・ 学力補充

上記の重点目標を達成するために、総合的な年間計画を立て、主に以下のような実践に取り組んだ。

○ボランティア活動

学校地域支援本部との連携のもと学校周辺歩道植え込みへの「花咲きロード」作り（春・秋）や、校区内清掃などのボランティア活動に取り組んだ。有志による「ボランティアクラブ」のメンバーが活動の中心となっている。



○多文化共生

1年生では奈良で学ぶ世界各国からの留学生と交流し、異文化への関心を高め、3年生では紙芝居「故郷の春」上演と在日韓国人の方の講演から民族差別について考え、チマチョゴリ体験、チヂミ作りを通じて韓国の文化に触れ

た。



○合唱コンクール

2ヶ月にわたり、各クラスで毎日合唱の練習をする中で、団結や協力の大切さを学ぶ。受容感や自己効力感を養い、リーダーシップの育成にもつながっている。2年生は市音楽会でも学年合唱を披露し高い評価を得ている。

○職場体験学習

近隣地域を中心に87の事業所で3日間の職場体験学習を予定し、準備を進めた。生徒の意欲も高く受け入れ事業所からも高い評価を得た。

○放課後学習

学習支援ボランティアによる放課後学習の取組が定着し、1年生を中心とした基礎学力強化と、学習意欲向上につながった。

○私のけんこう日記

挨拶・睡眠・食事など基本的な生活習慣を意識することを目的に、全校で取り組んだ。一言欄や保護者欄も設け、家庭とも連携できるように工夫した。

※上記以外にも、学校行事・授業・生徒会活動・部活動など学校生活での全ての場面で重点目標を意識した実践をする。

4 研究の成果

○3年間を見通した重点目標が職員に定着し、学習のねらいに一貫性ができて、めざす生徒像にそった実践につながってきた。

○特に学校行事や体験活動のねらいに盛り込むことで全体の取り組みになった。

○職員が共通の視点で総括でき、連携が深まった。コミュニケーションが増えて気持ちよく仕事をすることができた。

5 今後の課題

○人権尊重と自己実現の土台となる「人の意見をしっかり聴き取り、自分の思いを発信できる力」、とりわけ自分の思いや考えを言葉で正しく伝えていく力の育成をさらに充実させる。

○学級集団のリーダー育成の取組。